

ふりゅう
風立



〔校訓〕

風に向かって立つ

疾風迅雷の勢いで駆け抜けよう!



校長 上村 勉

土で汚れた体操服。それは、全力で短距離走を駆け抜けている途中で、グラウンドで転倒した証。リレーの着順発表とプログラム終了のアナウンスで、汚れた体操服の選手たちが立ち上がり、ヨロヨロと歩き出す。それが、スローモーションのような映像で映画を観ているような感覚が生まれる。退場門や応援

席テントから拍手が起こる。「ああ…、いいなあ…」と幸せな気持ちになる。

体育大会から20日ほど経ちました。気がつけば空は高くなり、うろこ雲が敷き詰められています。季節は「豊の秋」となりました。稲がしっかりと実をつけ、日差しに輝く稲穂はまさに黄金色です。残念ながら種子島は早期稲作なので、町内で稲穂が頭を垂れている田が少ないです。しかし、秋の風景の1つとして心を落ち着かせてくれるのです。20回目の体育大会は、そんな秋の空気を感じる今月に、「一勝懸命～太陽に負けない熱い魂を～」のスローガンとともに行われました。

私は常々、行事や部活動での試合や競技など「勝ち・負け」があるものについては、「勝ちにこだわる」ことが大切だと思っています。「勝ちにこだわる」ことは「勝利至上主義」や「敗者への批判」などのリスクがあると指摘する人もいるかも知れません。だからこそ、「正しく」こだわって欲しいと思っています。一人ひとりが「最後まで諦めない」「全力を出し切る」というプロセスこそが、勝ちにこだわる正しい姿勢を表しているのではないのでしょうか。「勝ちにこだわる」とは、リレーの出走者たちの頑張りを受け止めて、自分の全力をつなげていくこと、それまでのチームの合計点数に自分の全力を重ねていくことだと思います。そうして、クラスや学年、学校は強い集団になっていくと思うのです。

午後の最初のプログラムは「応援合戦」。夏休みの午後から学校に集まり、汗だくになりながら演舞の細部にまでこだわり、意見を出して精度を上げていく。タブレットで自分たちの演舞を録画し、自主的に確認しながらさらに完成度を高める姿を陰から見守り、頼もしく思うことでした。

演舞の一つに「疾風迅雷(しっぷうじんらい)」というものがあります。疾風迅雷とは、「風のようにすばやく、雷のように激しいこと。激しい勢いで、すばやく動き回ること。」と辞典に載っていました(出典:四字熟語辞典(学研))。似たような四字熟語に「電光石火」がありますが、「速い」という点では共通していますが、疾風迅雷の方が力強さを前面に押し出した印象があります。その応援団の力強い演舞に元気と勇気をもらうことでした。

そして、最後のプログラムである「色別対抗リレー」で選手たちが入場してくる時に、大きな拍手が起こりました。とても自然に。そしてそれは体育大会を締めくくるにふさわしい緊張感を作り出し、会場にいる全員が注目する中で始まりました。競技中の声援の大きさは、同じ色のハチマキからくる一体感がそうさせるのか…。それから、諦めない走り方や見事なバトンパスを見るたびにさらに大きくなった気がしました。3年生の正しい「勝ちへのこだわり」が、1・2年生へ間違いなく伝わりました。「伝える」とは、「つなげる」ということです。中種子中の素晴らしい伝統と新しい力強さが後輩たちへとしっかりバトンパスされた瞬間となりました。

来週から10月で、明日は一年間のちょうど折り返し点です。正しく勝ちにこだわって、2学期を疾風迅雷の勢いで駆け抜けたとき、みなさん一人ひとりに「黄金色のメダル」がちゃんと届くはずですよ。



第20回 体育大会

9月10日(日)に、第20回体育大会が行われました。今年度は1日開催で、来賓の方々や保護者・地域の方々の前で練習の成果を披露することができました。第20回の節目の大会にふさわしく、今大会は新記録が多く出ました。

大会入りの「一勝懸命～太陽に負けない熱い魂を～」のとおり、「選手種目」や「学級対抗全員リレー」、「よさこいソーラン」「よいらーいき音頭」「応援合戦」等、生徒たちは持てる力を精一杯発揮して、その表情は達成感に満ちていました。



【よさこいソーランを披露した3年生】

コアスクールプロジェクト研修 英語研究授業

9月21日(木)に、宇都宮藍子教諭と中村綾乃教諭による2年生の英語の研究授業が行われました。本校はコアスクールプロジェクトエリア推進校として、2年目の取組となります。この時間は、グループで話し合いながら、種子島のおすすめスポットを英文で表現しました。その後、本校職員と種子島中学校・南種子中学校の先生や町内の小学校の先生方と授業研究を行いました。県総合教育センターの有馬研究主事から指導助言をいただきました。この学びをこれからの指導に生かしてまいります。



【ジグソー法による学習】

2年平和学習

9月22日(金)に、2年生が平和学習の一環として、増田地区の戦跡を巡る学習をしました。講師の歴史民俗資料館の稲垣さんや種子島こり～なの森山さんから、増田地区にかつて旧海軍の航空基地があったことや戦中・戦後の種子島の様子を聞きました。また、戸畑の煙突や弾薬庫跡等も見学しました。2年生は、1学期の長崎での修学旅行を振り返り、種子島にも戦争の傷跡が残されていることを知り、戦争と平和について考える貴重な学習ができました。



【掩体壕の跡を見る】

新ALTノンブレイク先生着任

この9月からALTのノンブレイク先生が着任しました。以下、先生の自己紹介です。「私は南アフリカのズール族の出身です。私はマハラバティンとフルルウェという小さな町で育ちました。非常に伝統的で文化的な地域から来たので、日本の歴史と文化を学べることをとても楽しみにしています。私のお気に入りの趣味は2つあって新しい言語を学ぶことと、クリケットとラグビーを観戦することです。どうぞよろしくお願いします。」



【ノンブレイク先生の挨拶】

中種子中生の活躍

- ☆【県吹奏楽コンクール】 銀賞
 - ☆【鹿児島県中学校総合体育大会(柔道競技)】
女子団体 4位
女子個人階級別 優勝 福 佳莉奈
 - ☆【鹿児島県中学校総合体育大会(陸上競技)】
第3位 塚田 心花
 - ☆【熊毛地区夏季ソフトテニス大会】
1年女子個人の部第1位 中野来愛・中島未来
1年男子個人の部第2位 濱田蒼真・山元颯介
1年男子個人の部第3位 濱田悠垂
2年男子個人の部第3位 東園隆幸・松本琥太郎
- ※この他の表彰は次号で紹介します。

10月の主な行事

- 3日(火) 中間テスト(1・2年)・実力テスト(3年)
学校集金(～5日)
 - 8日(日) 町民体育祭(吹奏楽部参加ほか)
 - 11日(水) 地区中体連新人大会
 - 12日(木) 地区中体連新人大会(予備日)
 - 15日(日) 中種子中学校吹奏楽部定期演奏会
 - 20日(金) 生徒会役員改選⑥
 - 24日(火) 家庭教育学級(風立祭展示作品製作)
 - 27日(金) 風立祭準備・リハーサル
 - 28日(土) 第20回風立祭
 - 30日(月) 振替休日
- ※吹立祭の次回の来校は、11月21日(火)です。